

エックスプリオール・オート
PRIOR **AUTO**

給湯暖房用熱源機

全自動タイプ 44-380/381/382/383/384/385型
44-390/391/392/393/394/395型
44-170/171/172/173/174/175型
44-180/181/182/183/184/185型
自動タイプ 44-665/666/667/668/669/664型
135-0060/0062/0065/0066型

<BL認定品>

型式名

GTH-2413AWXD
GTH-2413AWXD-T
GTH-2413AWXD-TB
GTH-2413AWXD-FF-1
GTH-2413AWXD-H

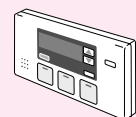
GTH-2413AWXH
GTH-2413AWXH-T
GTH-2413AWXH-TB
GTH-2413AWXH-FF-1
GTH-2413AWXH-H

GTH-1613AWXD
GTH-1613AWXD-T
GTH-1613AWXD-TB
GTH-1613AWXD-FF-1
GTH-1613AWXD-H

GTH-1613AWXH
GTH-1613AWXH-T
GTH-1613AWXH-TB
GTH-1613AWXH-FF-1
GTH-1613AWXH-H

GTH-2413SAWXD
GTH-2413SAWXD-T
GTH-2413SAWXD-TB
GTH-2413SAWXD-FF-1
GTH-2413SAWXD-H

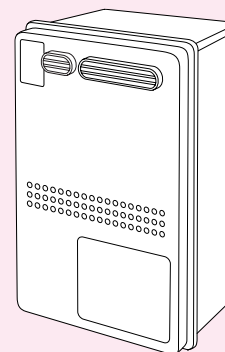
GTH-2413SAWXH
GTH-2413SAWXH-T
GTH-2413SAWXH-TB
GTH-2413SAWXH-H



(浴室リモコン)



(台所リモコン)



(44-380型)

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

ふろ給湯器の取扱説明書の「お問い合わせ窓口、修理（保守・点検サービス）窓口のご案内」をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

取扱説明書 大阪ガス

このたびは大阪ガスの給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SHA8215

こんなことができます

<p>お湯を出す</p> 	<p>お湯の温度をお好みの温度に</p>  <table border="1" data-bbox="723 287 957 367"> <tr> <td>37</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>食器洗いなど</td> <td colspan="3">シャワー、給湯</td> <td></td> </tr> </table>	37	38	39	40	41	食器洗いなど	シャワー、給湯			
37	38	39	40	41							
食器洗いなど	シャワー、給湯										
<p>お風呂を自動で沸かす 残り湯を沸かし直す</p> 	<p>設定した温度・湯量で自動にお湯はり</p>  										
<p>お風呂の追いだしをする</p> 	<p>追いだし</p>   <p>浴そうの</p>										
<p>お風呂のお湯を増やす <足し湯></p> 	<p>「たっぷり」を選択</p>  										
<p>お風呂のお湯をぬくする <さし水></p> 	<p>「ぬるく」を選択</p>  										
<p>お風呂の沸き上がり時刻を予約する</p> 	<p>「ふろ予約」を設定</p>  										
<p>暖房する 浴室を暖房する</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室暖房がない場合 放熱器の運転スイッチを「入」にするとう暖房できます。 ●浴室暖房がついている場合 お風呂の自動沸かし時にふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」にすることができます。お風呂が沸き上がった頃には浴室も暖まっています。 										

設定して使用できます。

(目安の温度：℃)

42	43	44	45	46	47	48	60
など	給湯など			《高温》を表示			

お湯がさめたら 自動で追いだし保温

お湯が減れば 自動で足し湯 (全自動タイプのみ)

自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

お湯の温度を上げることができます。

お湯がさめたら 浴そうのお湯の量を増やすことができます。

お湯が減れば 浴そうのお湯の温度を下げることができます。

設定した温度・湯量で自動にお湯はり

お湯がさめたら 自動で追いだし保温

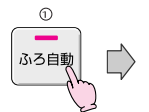

お湯が減れば 自動で足し湯 (全自動タイプのみ)

設定した時刻に沸き上がり

自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

※浴室暖房がついている場合

「ふろ自動」

リモコンの特徴	1
必ずお守りください(安全上の注意)	3
各部のなまえとはたらき(本体)	9
各部のなまえとはたらき(リモコン)	11
浴室リモコン	11
台所リモコン	13
初めてお使いになるときは	15
時計を合わせる	16
使いかた	
お湯を出す/お湯の温度を調節する	17
給湯保温機能の上手な使いかた	19
給湯保温する	20
給湯保温の開始時刻を設定する	21
お風呂を自動で沸かす	23
残り湯を沸かし直す	26
ふろ温度を調節する	27
ふろ湯量を調節する	28
お風呂の追いだしをする	29
お風呂のお湯を増やす(足し湯)	30
お風呂のお湯をぬくする(さし水)	31
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす	32
お風呂の沸き上がり時刻を予約する	33
暖房する	35
浴室を暖房する	37
静音設定する	39
各設定を変更する (お風呂の保温時間、 リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)	41
冬の凍結による破損予防	43
日常の点検・手入れのしかた	47
故障かな?と思ったら	49
アフターサービスについて	53
主な仕様	54

リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします <音声ガイド>

操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合には、片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
 お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
 (音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。(P41.42))



リモコン操作を文字でお知らせします <文字ガイド>

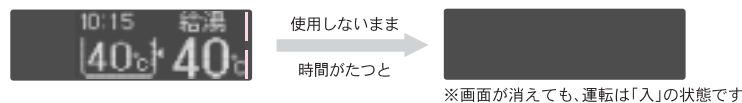
操作の内容を文字でお知らせします。 また、運転の状態を文字でお知らせします。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示節電>

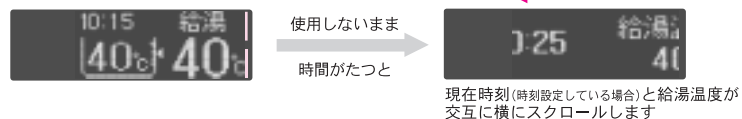
リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合浴室リモコンのみ約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

表示節電の場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶

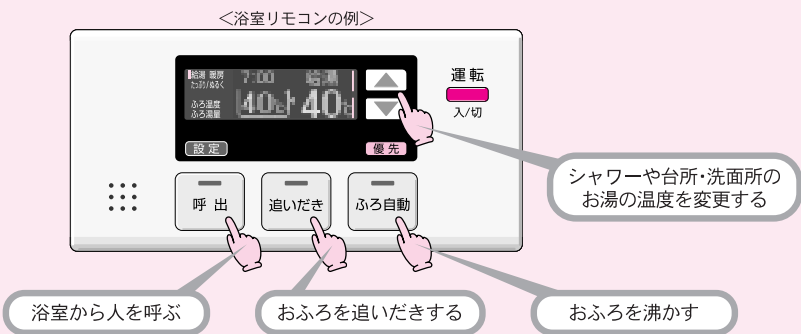


再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、再び表示します。
 ※画面表示しますが、運転動作は行いません。もう一度スイッチを押してください。
 ※なお、画面を消さないようにすることもできますが(P41.42)、表示節電の設定をおすすめします。
 表示節電を設定しない場合は、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合浴室リモコンのみ約1時間)たつと画面の状態が変わります。再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、元の画面に戻ります。

表示節電しない場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶

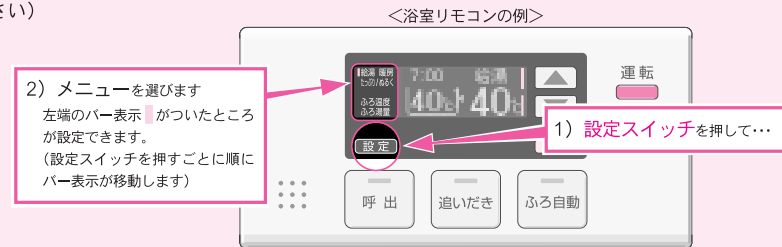


よく使う操作はワンタッチでOK



細かい設定は「設定スイッチ」で

ふろ温度・ふろ湯量の設定や、お風呂のお湯を増やすとき(足し湯)、お風呂のお湯をぬるくするとき(さし水)、お風呂の沸き上がり時刻を予約するときなどは、まず「設定スイッチ [設定]」でおこないたい操作を選び、それぞれを設定してください。(詳しくは本文の操作説明をお読みください)



必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

⚠️ 危険

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に

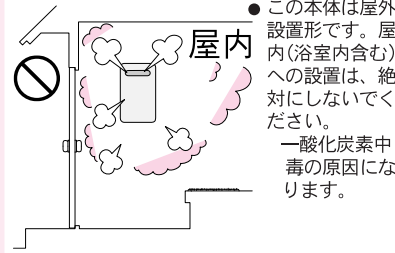
- 火をつけない。
- 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
- 周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。

販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。

屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)



●この本体は屋外設置形です。屋内(浴室含む)への設置は、絶対にしないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

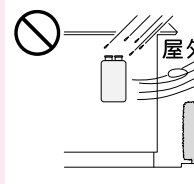
給・排気筒の外れ、穴あき、つまり(屋内設置形のみ)



●給・排気筒が外れていた、穴があいていないか確認してください。
●給排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠️ 警告

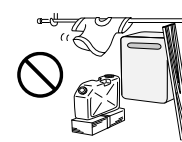
屋外設置の禁止(屋内設置形のみ)



●この本体は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしないでください。
雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

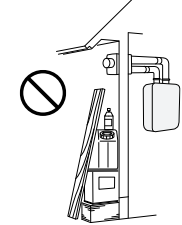
火災の予防

【屋外設置形の場合】



●本体や排気口のまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
火災の原因になります。

【屋内設置形の場合】



●本体や給排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
火災の原因になります。

製品の設置・移動工事は

●製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
思わぬ事故を予防するため。

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を閉める。



●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
火災・感電・故障などの予防のため。

子供に注意

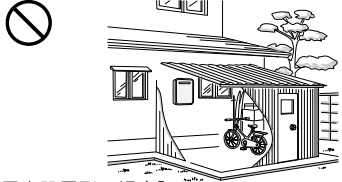
●浴そうの循環アダプター近くで水に潜らないでください。
思わぬ事故の原因になります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警告

波板囲いなどの禁止

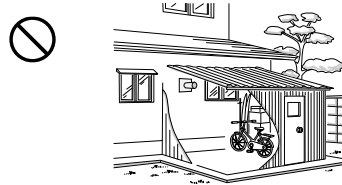
【屋外設置形の場合】

- 増改築などによって、本体を屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



【屋内設置形の場合】

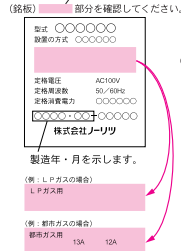
- 増改築などによって、給排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



使用ガス、電源の確認



- 銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。
- 電源はAC100V.50/60Hzまたは60Hz用です。他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。
- 分からない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



やけどに注意



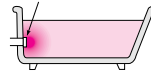
高温注意



- シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけど予防のため。



- 入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。やけど予防のため。



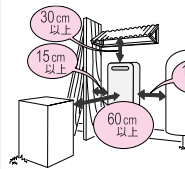
- お風呂沸かし(沸かし直し)・追いだきるときは、循環アダプター付近はあつくなる場合がありますのでさわらないでください。

(床暖房が設置されている場合)

- 床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしないでください。低温やけどの原因になります。

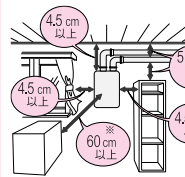
周囲の防火措置について

【屋外設置形の場合】



- 本体のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。

【屋内設置形の場合】



- 本体や給・排気筒のまわりに燃えやすい物(木材・棚・カーテンなどの布・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。

※アフターサービス上の寸法です。

注意

アースの確認



アースする!

- この本体には、アースが必要です。確認してください。本体が故障した場合、感電の原因になります。

温泉水や自家用井戸水で使うと

- 水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

用途について

- 台所・お風呂などの給湯、シャワー、お風呂を沸かす、暖房(乾燥)以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。
- 本体や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

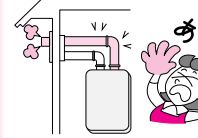
やけどに注意



接触禁止



- 排気口や排気筒のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。やけど予防のため。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



長期間使用しない場合

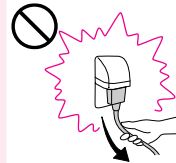
- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(P45, 46)

電源プラグは確実に



- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



- 電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

感電に注意



感電注意



- 電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

本体のまわりはきれいに

- 本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、本体の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

本体・リモコンの分解禁止



分解禁止

- 本体・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

⚠️ 注意

乾電池に関する注意(お願い)

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。
もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

🙏 お願い

特監法対象製品です(屋内設置形のみ)

- この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後本体と(給)排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

おふろ沸かし時の注意



- 浴そうの循環アダプターを、タオルなどでふさがないでください。
循環不良になり、おふろ沸かしができません。

リモコンについて

- リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。
(台所リモコン・増設リモコンは防水型ではありません。)
- 台所リモコン・増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

停電時の処置

- 停電したときは、運転が停止します。
- 停電後、設定した給湯温度表示・ふろ温度表示・ふろ湯量表示が、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)

日常のお手入れ

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。
- 浴そうのフィルターはこまめに掃除してください。
ポンプ故障の予防のため。

入浴剤や洗剤の注意

- 硫黄(イオウ)・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。
入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになってからお使いください。
本体の熱交換器が腐食する原因になります。
- 入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。



結露現象に注意

- 水を出すときには、熱源機の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。
- お湯を出すときには、熱源機の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。
運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

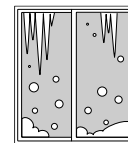
市販の補助用具使用について

- この本体の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。
- 水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
(わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。)

太陽熱温水器との接続禁止

- (スカイプレnder(46-155型)を使用する場合は除く)
- 太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。
お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。
また本体の故障の原因にもなります。

凍結に注意



- 冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。
(P43~46)
- 凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

積雪時の注意

- 積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。
給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

排気ガスについて

- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入ガラスなど)に当たらないように設置してください。
増改築時も同様に注意してください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

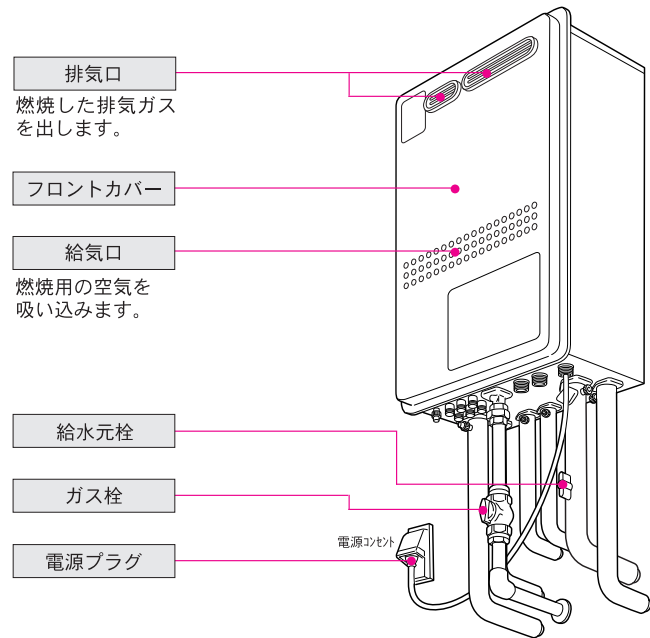
この製品は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

各部のなまえとはたらき(本体)

本 体

44-380 型、44-390 型、44-170 型、44-180 型、44-665 型、
135-0060 型
【屋外設置壁掛形】



※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

品名と外観

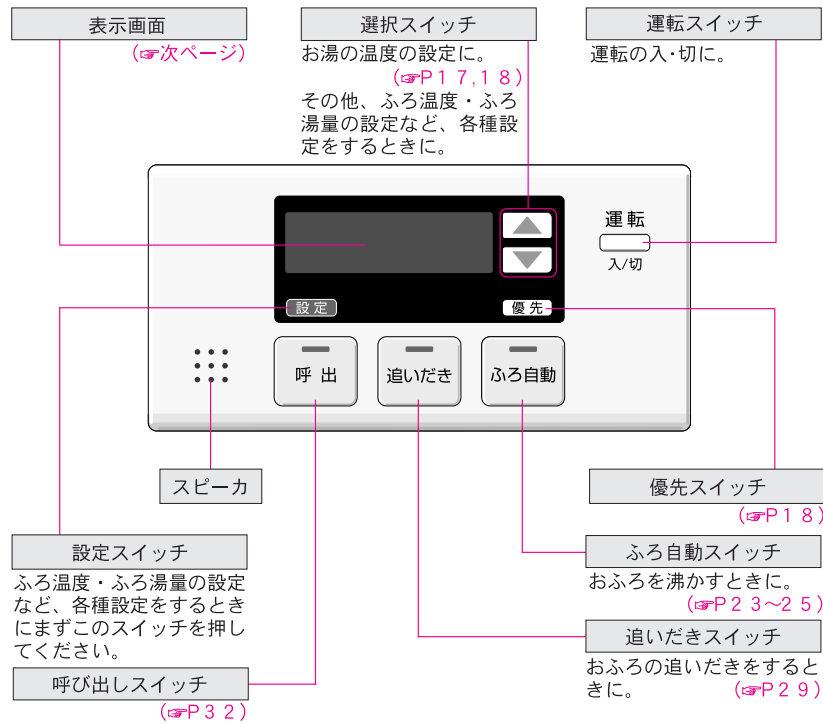
排気部の形状が異なり設置形態が変わります。

	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形	PS設置上方排気形
屋 外 設 置 形	44-381型 44-391型 44-171型 44-181型 44-666型 135-0062型	44-383型 44-393型 44-173型 44-183型 44-668型 135-0065型	44-385型 44-395型 44-175型 44-185型 44-664型 135-0066型
屋 内 設 置 形	屋内設置強制給排気形 (二本管)		
	44-384型 44-394型 44-174型 44-669型		

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン<別売品>

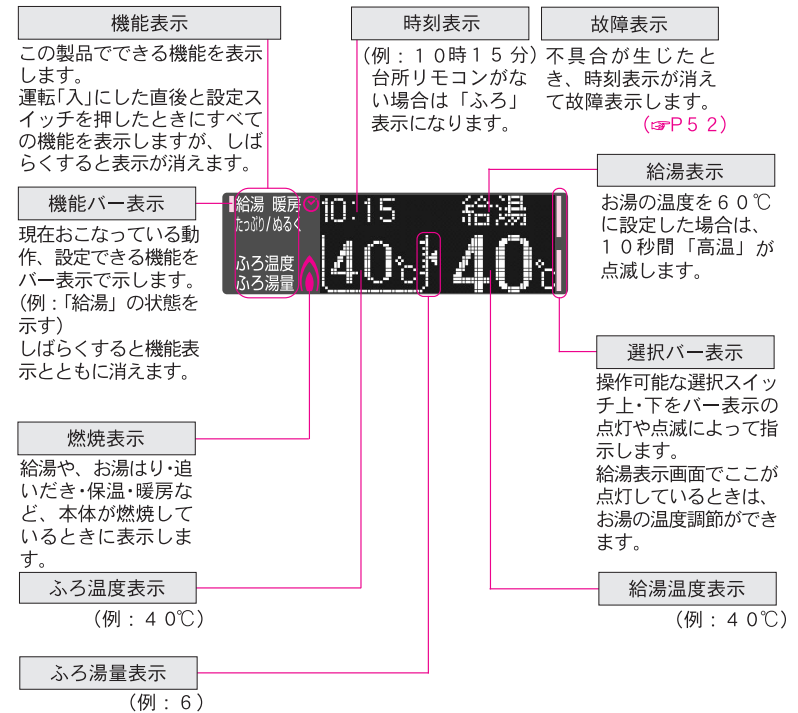
(浴室に取り付けます)



テレビリモコンなどの別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

表示画面

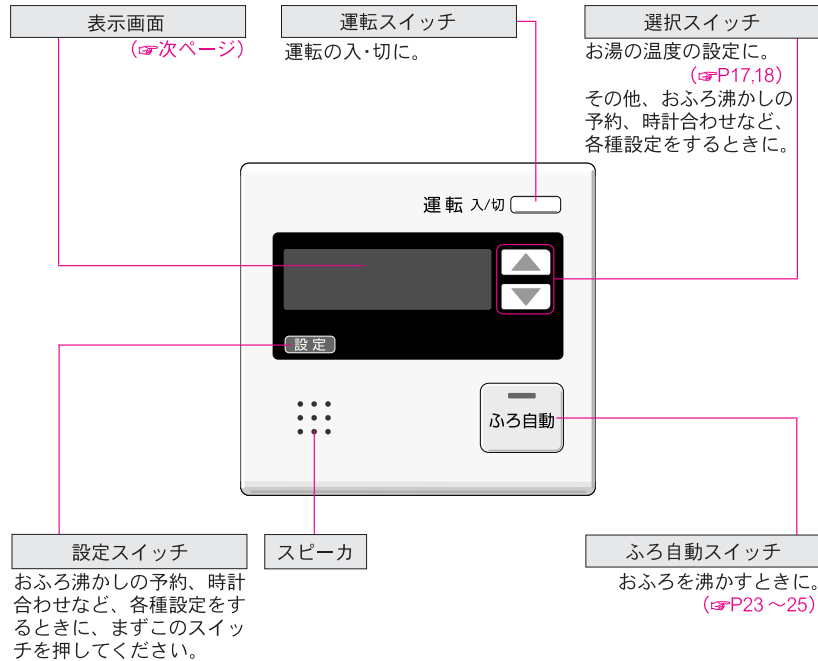
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)



各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

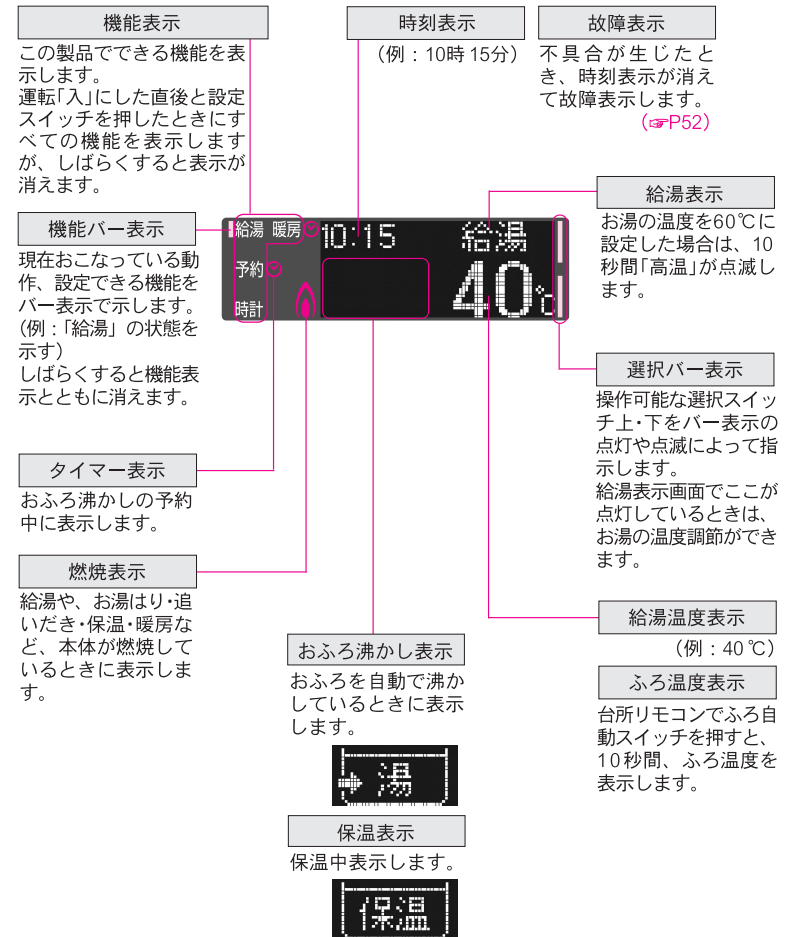
台所リモコン<別売品>

(台所などに取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。(使いかたの各ページ参照)

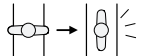


初めてお使いになるときは

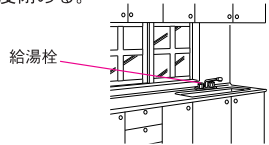
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～5の手順でおこなってください。

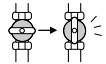
1 給水元栓を全開にする。



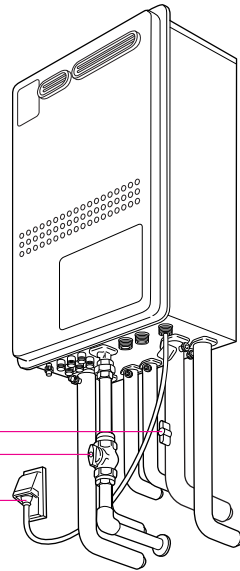
2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。

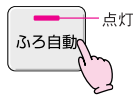


5 浴そうの循環アダプターからお湯(水)が出てくることを確認する。(ポンプの呼び水)
※浴室リモコンで操作してください。

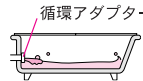
① 運転スイッチを「入」にする



② ふろ自動スイッチを「入」にする



③ 浴そうの循環アダプターから水が出てくることを確認する



リモコンの表示が消えて故障表示 **■■■** が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度 ①よりやり直してください。

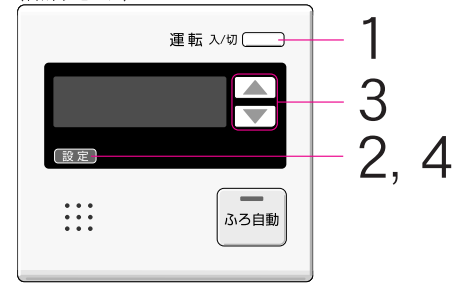
④ ふろ自動スイッチを「切」にする



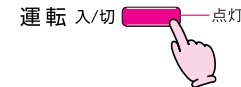
時計を合わせる

🔊 : 女性の声でお知らせ

(台所リモコン)



1 台所リモコンの運転スイッチを「入」にする



♪運転「入」音が鳴ります。



2 設定スイッチを押してバー表示を「時計」の位置にする



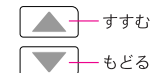
設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

🔊 “時刻が変更できます”



バー表示=「時計」

3 選択スイッチで現在時刻を設定する



↑すすむ

↓もどる

一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

🔊 “よければ設定スイッチを押ししてください”



設定時刻

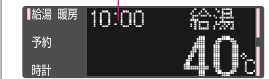


4 設定スイッチで確定(元の画面表示に戻る)



🔊 “設定されました”

設定時刻

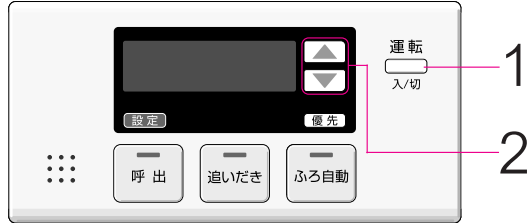


時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時刻表示のかわりに「ふろ」を表示します。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

🗣️: 女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

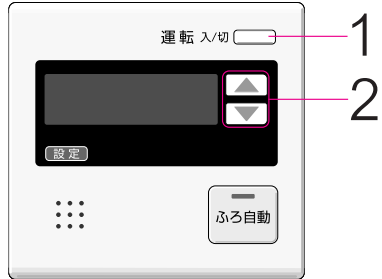


♪運転「入」音が鳴ります。



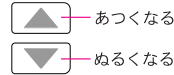
前回到設定した給湯温度
(例: 40℃)

(台所リモコン)



<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



🗣️“給湯温度が変更されました”



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯

4 給湯栓を閉める



消灯

警告



高温注意

やけど予防のために。

●シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手で
お湯の温度を確認してから使用してください。

●60℃に設定したときは、
・🗣️“あついお湯が出ます”
・約10秒間、高温表示が点滅
でお知らせします。

●表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注
意してください。

※表示節電機能がはたらいて画面表示が消えている場合
(P2)、給湯栓を開けると再び画面表示しますので、
給湯温度をよく確かめてから使用してください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を
変更しないでください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り
替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に
変わります。



約10秒間 点滅→点灯



<浴室リモコン表示画面>



(℃。目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗い など	シャワー、給湯など						給湯など				高温	

※初期設定(工場出荷時)=40℃

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください——優先切替

	湯温調節できない状態 → 湯温調節するには(優先切替) → 湯温調節できる状態		
浴室リモコン	<p>優先スイッチを「入」にする 点灯 → 優先</p> <p>🗣️“給湯温度が変更できません”</p> <p>点灯していません 🗣️“優先スイッチを押してください”</p>	<p>点灯</p>	<p>各リモコンで設定温度がそれぞれ違っていたときは、優先切り替え時に</p> <p>🗣️“給湯温度が変更されました”</p> <p>🗣️“あついお湯が出ます”(60℃時)</p> <p>等お知らせします。</p> <p>※設定温度は例です。</p>
台所リモコン	<p>運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 運転 入/切</p> <p>消灯 → 点灯</p> <p>🗣️“浴室優先です”</p> <p>※ふる運転中にこの操作をするとふる運転が停止します。</p>	<p>点灯</p>	

給湯保温機能の上手な使いかた

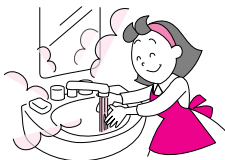
■こんなお悩みを解決します

なかなか温まらずイライラ……



給湯保温機能を使えば、より早く適温が出ます。

冬の朝一番でも、より早く適温！

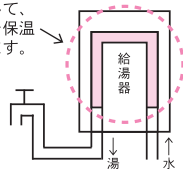


Q. 「給湯保温機能」とは何？

A. 設定温度のお湯が早く出るように、本体内部のお湯を保温しておく機能です。

お湯を使用していないときでも、給湯器内が冷えると保温のため燃焼します。異常ではありません。

時々燃焼して、この部分を保温しておきます。



Q. 給湯保温機能を使っても、損をしないの？

A. 早くお湯が出てくるので、お湯が出るまでに使うガス量も捨てる水の量も少なくて済みます。また、損にはなりません。

Q. 上手な使い方はありますか？

A. ①朝一番の時間帯に給湯保温予約運転の設定をしておくとう便利です。
寝る前に運転スイッチを切っても、朝には自動的に給湯保温運転を開始します。
②給湯保温予約中で、お湯を使用しないとき(寝る前や外出される時など)は、こまめに運転スイッチを切ってください。こまめに切った方が無駄が少なくなります。

Q. 給湯保温機能を使っても、最初に水が出るけれど？

A. 給湯配管中の水は保温できないので、その水が出るためです。

Q. 給湯保温時間帯であるはずなのに、給湯保温が切れている？

A. 給湯栓が充分閉まっていますか？
閉まっていない場合は、しっかりと閉めてください。
閉まっている場合は、給湯回路から水漏れが生じている可能性があるため、お買い上げの販売店にご連絡ください。

使いかた 給湯保温する

👤: 女性の声でお知らせ

(台所リモコン)

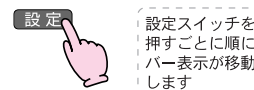


2
1, 3

お湯を出していないときでも燃焼して本体内部のお湯を暖め、保温し、給湯栓を開いてからお湯が出るまでの時間を短くします。
(運転「切」にして本体内部が冷えている場合は、本体内部のお湯が十分に暖まるまで、数分間時間がかかります。(季節によって変わります))

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にする

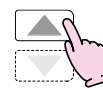


👤 “給湯保温または、給湯保温の予約ができます”



給湯温度の確認・調節をしてください。
優先リモコンの給湯設定温度のお湯が出ます。(P18)

2 選択スイッチ(上)で給湯保温「入」にする



👤 “給湯保温を開始します”

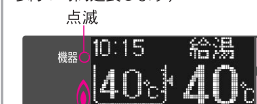


※「機器」表示が点滅しているときは、給湯保温の準備中です。

3 設定スイッチで確定(給湯表示画面に戻る)



👤 “設定されました”
約1時間保温を続けます。
(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)



最後に設定スイッチを押したままでも、2の段階で変更したまま確定されます。

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。(サークル表示〇も点滅のまま) <保温停止中>



再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。 <保温中>



お湯を出すときの注意事項、温度調節範囲などは、P17~18「お湯を出す/お湯の温度を調節する」をご覧ください。

給湯保温をやめたいとき

1~3の手順で、給湯保温の「切」を点滅させて確定してください。



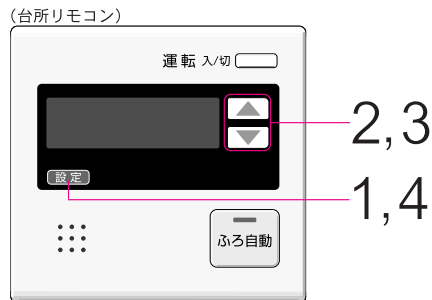
運転スイッチを「切」にしても給湯保温は解除します。

使いかた

給湯保温の開始時刻を設定する(給湯保温予約)

🗣️: 女性の声でお知らせ

給湯保温の開始時刻をあらかじめ設定しておくことができます。*



(例) 朝6時30分に自動的に給湯保温をはじめたい場合

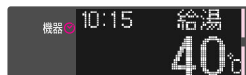
給湯保温予約の設定前の準備

1. 給湯温度を確認する。
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。
(「時計を合わせる」P16)

4 設定スイッチで確定する (給湯表示画面に戻る)



🗣️ “予約されました”



最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、3の段階で変更したままで確定されます。

ただし現在時刻を設定していない場合は、開始時刻設定のあと続けて現在時刻の設定に入ります。
「時計を合わせる」(P16)の3~4の要領で現在時刻を設定してください。

※ 給湯保温の開始時刻になると、運転「切」の場合でも、自動的に運転「入」にし、給湯保温を始めます。

<その場合のリモコン表示>

サークルのみ点滅



燃焼中点灯

給湯保温の開始時刻は、一度設定すると記憶しています。
運転「切」にすると、給湯保温も「切」になりますが、給湯保温予約を「解除」しなければ、次回も設定した時刻に給湯保温を開始します。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して バー表示を「機器」の 位置にする

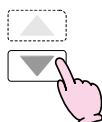


設定スイッチを押すことに順に、バー表示が移動します

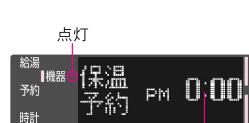
🗣️ “給湯保温または、給湯保温の予約ができます”



2 選択スイッチ(下)で 給湯保温予約「入」に する



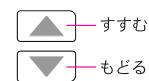
🗣️ “時刻が変更できます”



前回設定した時刻を記憶しています

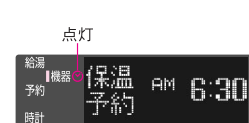
<一度設定すると記憶します>

3 選択スイッチで 開始時刻を設定する (時刻変更しない場合4へ)



すすむ
もどる

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



🗣️ “よければ設定スイッチを押してください”

予約時刻5分前になると 給湯保温開始

約1時間保温を続けます。
(保温中にお湯を使用すると、そこから約1時間延長します)

サークルのみ点滅



燃焼中点灯
給湯保温中は「機器」を表示

約1時間お湯を使用しないと給湯保温が停止し、「機器」表示が点滅します。
(タイマー表示も点滅のまま)

<保温停止中>

🗣️ “両方点滅”

再度お湯を使用すると、「機器」表示が点灯に変わり、お湯の使用後からさらに約1時間保温を続けます。

<保温中>

🗣️ “サークルのみ点滅”

給湯保温予約をやめたいとき
(給湯保温予約時間の確認をしたいとき①~②)

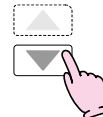
① 設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。



🗣️ “給湯保温または、給湯保温の予約ができます”



② 選択スイッチ(下)を押す。

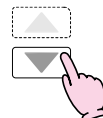


🗣️ “予約されています”

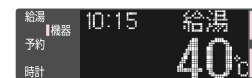


※予約時間の確認のみの場合は、このあと設定スイッチを押してください。(給湯表示画面に戻る)

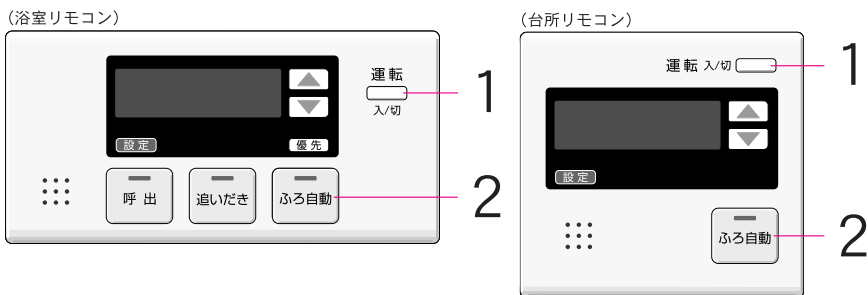
③ さらに選択スイッチ(下)を押して解除する。



🗣️ “予約が解除されました”



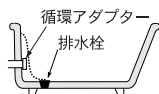
お風呂を自動で沸かす- 1



ここでは浴室リモコンでご説明します

運転前の準備

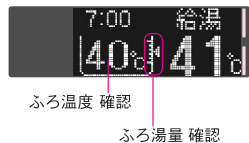
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。



浴室暖房がついている場合は、P 3 7, 3 8 もご覧ください。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



ふろ温度・湯量の変更のしかた

2 7, 2 8 ページ参照

警告

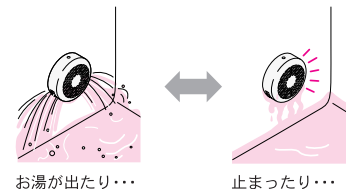
やけど予防のために。



- お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

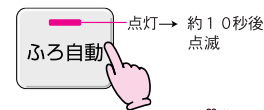
故障ではありません

お湯はりの準備のため、ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。



(次ページへ)

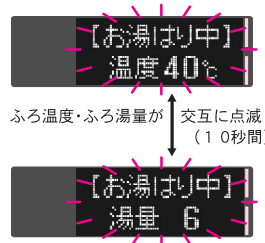
2 ふろ自動スイッチを「入」にする



浴室暖房がついている場合は、P 3 7, 3 8 をご覧ください。

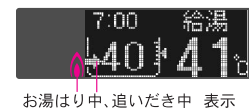
🔊 “お湯はりをします”

1) お湯はりを開始します。

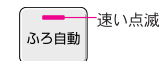


※台所リモコンでふろ自動スイッチを押した場合、台所リモコンの給湯温度表示が 1 0 秒間ふろ温度表示に変わります。

2) お湯はりがおわると、追いだきします。



3) 入浴できる状態に近づくと、ランプが速い点滅に変わります。



♪ビビビ音でお知らせ

🔊 “もうすぐお風呂が沸きます”



使いかた

おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート
<全自動タイプのみ>

お風呂に入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。そこで「ぬるいな」と感じる前に自動的にあたためます。(沸き上がり以降)

入浴したのをセンサーが検知します。

約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきます。

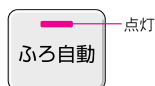


保温時間中、ごきげんオートがはたらきます。

沸き上がり後の自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)および、追いだし・足し湯運転終了後約2分間および、「ぬるく」運転終了後約15分間は働きません。

(前ページより)

沸き上がり



メロディでお知らせ
+
◎「おふろが沸きました」

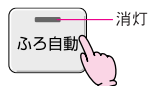
約4時間、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)を続けます。※保温時間は変更できます。(P41~42)



保温燃焼中 点灯

- 途中でお風呂沸かしをやめたいとき
- 沸き上がり後、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)・ごきげんオート(全自動タイプのみ)の必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)



ふろ自動運転が完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。(自動タイプのみ)

使いかた

残り湯を沸かし直す

◎: 女性の声でお知らせ

残り湯の沸かし直しは、お風呂の自動沸かし(P23~25)と同じ操作でおこなってください。製品タイプと残り湯の量によって、沸き上がりの状態が違うのでご注意ください。

残り湯を沸かし直すときの注意

全自動タイプ 設定したふろ湯量(水位)まで足し湯してから、設定温度に沸き上げます。

<残り湯が循環アダプターより下にある場合>



残り湯の分だけ沸き上がり量が増えます。
※浄化ははたらかないので、なるべく排水してください。

<残り湯が循環アダプターより上で、設定温度より約5℃以上低い場合>

自動タイプ



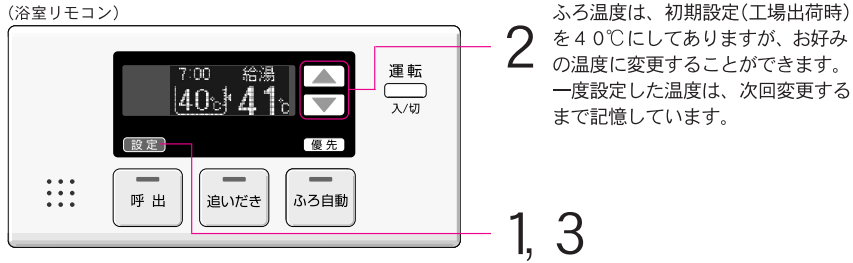
設定湯量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸き上げます。
沸き上がり量は多少ばらつきます。

<残り湯が循環アダプターより上で、設定温度より約5℃以内の場合>



約10ℓ足し湯し、設定温度まで沸き上げます。
沸き上がり量は残り湯の量により、設定湯量にならない場合があります。

使いかた ふろ温度を調節する



ふろ温度は、初期設定(工場出荷時)を40℃にしてありますが、お好みの温度に変更することができます。一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

- 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ温度」の位置にする
- 選択スイッチでふろ温度を調節する
- 設定スイッチで確定(給湯表示画面に戻る)

(℃、目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

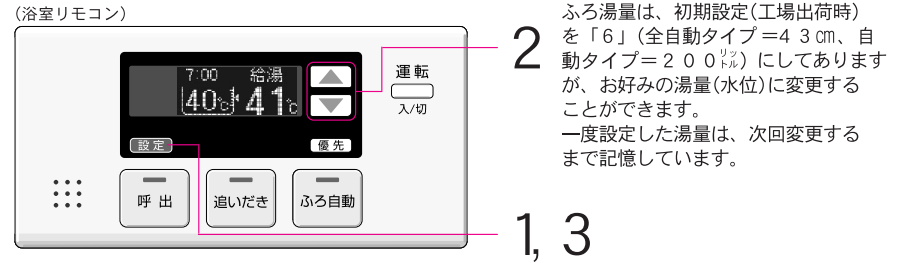
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定(工場出荷時)=40℃

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

🗣️: 女性の声でお知らせ

使いかた ふろ湯量を調節する



ふろ湯量は、初期設定(工場出荷時)を「6」(全自動タイプ=4.3cm、自動タイプ=2.00^{1/2}寸)にしてありますが、お好みの湯量(水位)に変更することができます。一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

- 設定スイッチを押してバー表示を「ふろ湯量」の位置にする
- 選択スイッチでふろ湯量を調節する
- 設定スイッチで確定(給湯表示画面に戻る)

全自動タイプの場合		自動タイプの場合	
<水位の目安>		ふろ湯量表示(A)の寸法	浴槽の形状などにより、実際の水位と異なります。
11	6.0cm	11	3.30 ^{1/2} 寸
10	5.7cm	10	3.00 ^{1/2} 寸
9	5.3cm	9	2.70 ^{1/2} 寸
8	5.0cm	8	2.45 ^{1/2} 寸
7	4.6cm	7	2.20 ^{1/2} 寸
6	4.3cm	6	2.00 ^{1/2} 寸
5	3.9cm	5	1.80 ^{1/2} 寸
4	3.6cm	4	1.65 ^{1/2} 寸
3	3.2cm	3	1.50 ^{1/2} 寸
2	2.9cm	2	1.40 ^{1/2} 寸
1	2.5cm	1	1.30 ^{1/2} 寸

※初期設定(工場出荷時)=6

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

使いかた

おふろの追いだきをする

(浴室リモコン)



おふろの追いだきができます。



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。

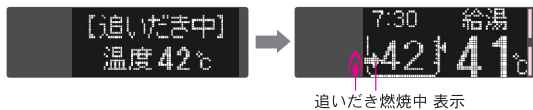


1 追いだきスイッチを「入」にする



◎「追いだきをします」

お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上の場合はお湯の温度+約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)

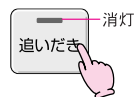


追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

※追いだき中に温度を変更したい場合は、「ふろ温度を調節する」(P27)の手順で変更してください。

追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)



- 「おふろの追いだき」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた

おふろのお湯を増やす(足し湯)

◎: 女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)



おふろのお湯の量が、約20%増えます。



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぷりぬるく」の位置にする

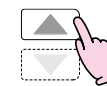


設定スイッチを押すことに順にバー表示が移動します

◎「足し湯またはさし水ができます」

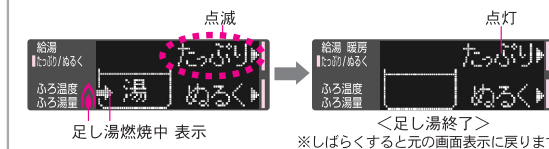


2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ



◎「足し湯をします」

お湯を約20%足し湯し、自動的に止まります。(お湯の温度はふろ設定温度です。)

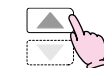


※「足し湯」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

※しばらくすると元の画面表示に戻ります

足し湯(たっぷり)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)



設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
- 「足し湯」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた

お風呂のお湯をぬるくする(さし水)

(浴室リモコン)



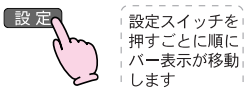
2
1

お風呂のお湯の温度を下げるができます。



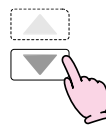
※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して
バー表示を「たっぷり/ぬるく」
の位置にする



◎「足し湯またはさし水ができます」

2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ



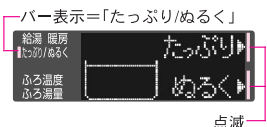
◎「さし水をします」

<全自動タイプの場合>

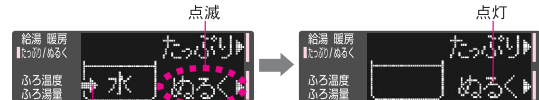
ふる設定温度より約1℃下げるために必要な水がはいり、約3割のお湯がはいってから停止します。

<自動タイプの場合>

10割の水がはいり、約3割のお湯がはいってから停止します。



点滅



さし水(「ぬるく」運転)中表示

※燃焼表示がつくことがあります。

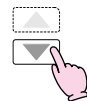
<さし水(ぬるく)終了>

※しばらくすると元の画面表示に戻ります

※「さし水」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

さし水(ぬるく)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(給湯表示画面に戻る)



※約3割のお湯を入れてから停止します。

設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

- 「さし水」は、お湯の使用中止または「お風呂の自動沸かし」中は使用できません。
- 「さし水」中に台所などの給湯栓を開けると、「さし水」は中止されます。その場合、しばらくは「さし水」の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認ができません。給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。

使いかた

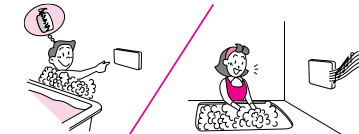
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす

◎：女性の声でお知らせ

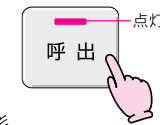
(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。(インターホンではないので会話はできません)



呼び出しスイッチを押す



呼び出し音でお知らせ
+
◎「お風呂で呼んでいます」



押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

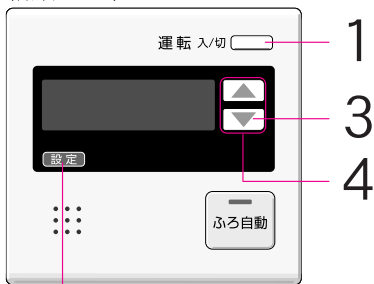
- 呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。
- インターホンリモコンをお使いの場合は、そちらの取扱説明書をご覧ください。

使いかた

おふろの沸き上がり時刻を予約する

🔊：女性の声でお知らせ

(台所リモコン)



2, 5

沸き上がり時刻の60分前までには予約してください。

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を開める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをやる。
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。(設定スイッチで確認 [P27,28](#))
5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

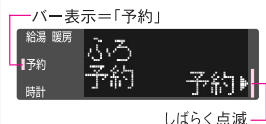


♪運転「入」音が鳴ります。

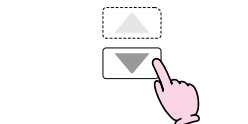
2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする



🔊“ふろ自動の予約ができます”



3 選択スイッチ(下)を押す



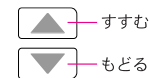
🔊“時刻が変更できます”



以前に4で予約時刻を設定していると、その時刻を表示します。

<一度設定すると記憶します>

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する(時刻変更しない場合5へ)



一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。



🔊“よければ設定スイッチを押してください”

警告



やけど予防のために。

お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

- 運転スイッチ「切」にしても予約運転します。
- 前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したおふろ沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。

5 設定スイッチで確定する(給湯表示画面に戻る)



最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、4の段階で変更したままで確定されます。

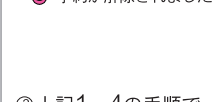
おふろ沸かしが始まる前に

- ・予約時刻を確認したい
- ・予約をやめたいとき
- ・予約時刻を変更したい

① 設定スイッチを押し、



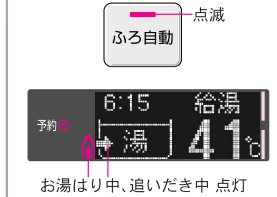
② 選択スイッチ(下)で解除する。



③ 上記1～4の手順で、

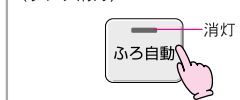
おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前に自動運転を開始します。

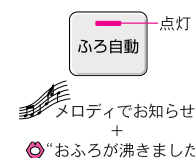


おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。(ランプ消灯)



沸き上がり



約4時間、自動追いだし保温・自動足し湯(全自動タイプのみ)を続けます。
※保温時間は変更できます。
([P41,42](#))

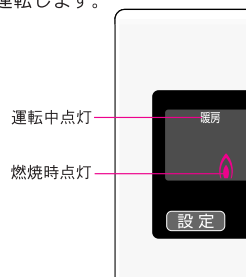


使いかた 暖房する

🗣️:女性の声でお知らせ

1 暖房する部屋の 放熱器、床暖房リ モコン等の運転スイッチを「入」に する

本体が運転します。

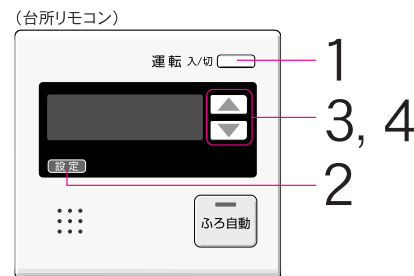


2 放熱器の温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、本体が能力を調節します。

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。(イラストは「切」の状態です)
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

放熱器に運転スイッチがない場合

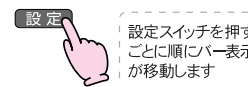


<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押して バー表示を「暖房」の 位置にする



設定スイッチを押す
ごとに順にバー表示
が移動します

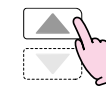
🗣️“暖房運転ができます”

バー表示＝「暖房」



前回設定したほうが点滅
(工場出荷時＝「切」)

3 選択スイッチ(上)で 暖房運転「入」にする



🗣️“暖房を開始します”



4 暖房運転の温度 調節をする

設定温度に合わせて、本体
が能力を調節します。

途中で暖房運転をやめたいとき

2、3の手順で暖房運転
「切」にする。

- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。
- 放熱器に運転スイッチがないのにこの操作ができない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

使いかた 浴室を暖房する

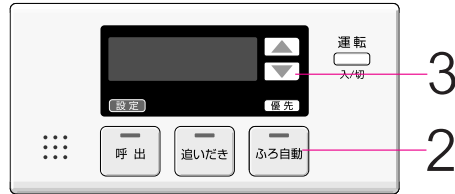
浴室暖房との組み合わせによってはできない場合があります。

おふろの自動沸かし時に
同時に浴室暖房する場合

浴室暖房がついている場合、おふろの自動沸かし時に
ふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」に
することができます。

ここでは浴室リモコンでご説明します

(浴室リモコン)



P23～25 「おふろを自動で沸かす」
操作 2 から説明します。
(台所リモコンも同様)

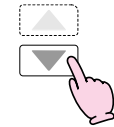
2 ふろ自動スイッチを「入」にする



🔊 “お湯はりをします/
浴室暖房ができます”



3 選択スイッチ(下)を押す



🔊 “暖房を開始します”

おふろ自動沸かしの画面に戻り(ふろ温度・ふろ湯量が交互に
10秒間点滅)、お湯はりを開始します。

P24 操作 2 の続きへ
おふろの自動沸かしを続けます

3 の操作をせずに20秒待てば、自動沸かしの画面に戻り、
浴室暖房をせずにおふろの自動沸かしを続けます。

4 浴室暖房乾燥機の温度調節をする

設定温度に合わせて、本体が能力を調節します。

途中で浴室暖房をやめたいとき

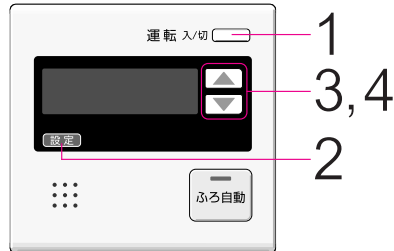
- 1) 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」にする。
- 2) 選択スイッチ(下)で、浴室暖房「切」にする。

● 暖房乾燥機の運転方法・温度調節の方法については、暖房乾燥機側の取扱説明書にしたがってください。
● 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

浴室暖房のみする場合

ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)

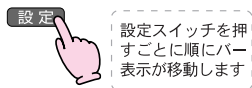


<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の位置にする



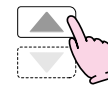
🔊 “浴室暖房ができます”

バー表示＝「暖房」



前回設定したほうが点滅
(工場出荷時＝「切」)

3 選択スイッチ(上)で浴室暖房「入」にする



🔊 “暖房を開始します”



4 浴室暖房乾燥機の温度調節をする

設定温度に合わせて、本体が能力を調節します。

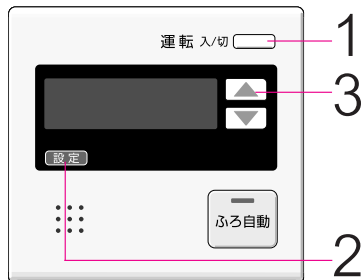
途中で浴室暖房をやめたいとき

- 2、3の手順で暖房運転「切」にする。

使いかた 静音設定する

夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに、静音設定してください。

(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



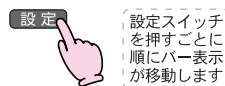
静音設定のはたらき ▶▶▶

通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音設定することで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

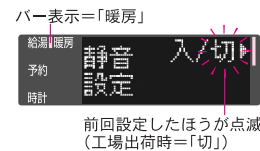
🔊: 女性の声でお知らせ

浴室暖房がない場合

2 設定スイッチを押して
バー表示を「暖房」の位置にする



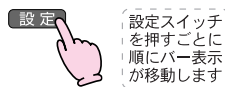
🔊 "静音の設定ができます"



前回設定したほうが点滅
(工場出荷時=「切」)

浴室暖房がある場合

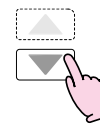
2 設定スイッチを押して
バー表示を「暖房」の
位置にする



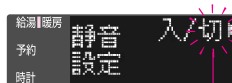
🔊 "浴室暖房ができます"



選択スイッチ(下)で
静音を選択する



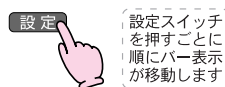
🔊 "静音の設定ができます"



前回設定したほうが点滅
(工場出荷時=「切」)

暖房運転がある場合

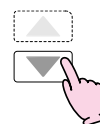
2 設定スイッチを押して
バー表示を「暖房」の
位置にする



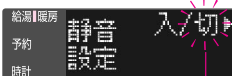
🔊 "暖房運転ができます"



選択スイッチ(下)で
静音を選択する



🔊 "静音の設定ができます"



前回設定したほうが点滅
(工場出荷時=「切」)

静音設定をやめたいとき

同じ手順で静音設定「切」
にしてください。

各設定を変更する (おふろの保温時間、リモコンの音量)

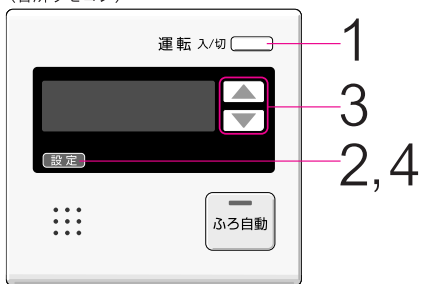
・音声ガイド・表示の節電

👉 = 初期設定 (工場出荷時)

(浴室リモコン)



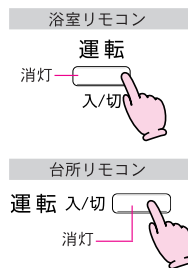
(台所リモコン)



次のような設定の変更ができます	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの表示の節電	それぞれのリモコンで設定してください
ふろ配管クリーン	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも変更できます

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



♪ 運転「切」音が鳴ります。

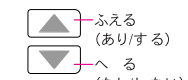
2 設定スイッチを押す



押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

👉 次ページ 2

3 選択スイッチで変更する



それぞれの変更をします。

👉 次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す



続けて他の設定を変更する場合は、再度2~4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

	2 設定スイッチを押す (押すごとに切り替わります)	3 選択スイッチで変更する
ふろ保温時間	🔊 “保温時間が変更できます” ふろ保温 4時間 (0-9)	(単位:時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ↑ 保温なし
音量	🔊 “音量が変更できます” 音量 中	なし 小 中 大 ※「なし」の設定でも「呼び出し音」(👉P30)は鳴ります。
音声ガイド	🔊 “操作音が変わります” 音声ガイド なし	あり 操作音と声でお知らせします なし 操作音のみでお知らせします ※操作音と声の両方とも鳴らさないにするには、音量を「なし」に設定してください。(音量「なし」の設定でも「呼び出し音」(👉P32)は鳴ります。)
表示の節電	🔊 “表示が変わります” 表示の節電 しない	する (こちらを推奨します) 無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。(👉P2) しない 運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。(画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わりますが、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。)(👉P2)

冬期の凍結による破損予防-1

冬期には本体や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

1. 給湯・ふろ回路の凍結予防

通常の寒さのとき [外気温-15℃までで無風のとき]

給湯側もふろ側も、自動的に凍結予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

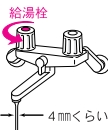

給湯側	気温が下がってくると、凍結予防ヒータが自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。	凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管や、給水元栓及びふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)
ふろ側	<浴そうの循環アダプターより上に水がないとき> 凍結予防ヒータで凍結予防します。(上記「給湯側」参照)	
	<浴そうの循環アダプターより上に水があるとき> ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 ※水が循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。	水がないとポンプが空運転し、本体から大きな音が発生する場合があります。

冷え込みが厳しいとき [外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日]

給湯側は以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

ふろ側は自動的に凍結予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

給湯側	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運転スイッチを「切」にする。 2. ガス栓を開める。 3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。 ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。 4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。 <p>※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態に給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の処置は気温が低いので問題ありません。</p>	 <p>給湯栓 4mmくらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。 ●サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。 ●この処置をしても凍結するおそれのある場合には、45～46ページの要領で水抜きをおこなってください。
ふろ側	<p>ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 ※水が循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。 ※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。</p>	 <p>循環アダプター 5cm以上</p> <p>水がないとポンプが空運転し、本体から大きな音が発生する場合があります。</p>

2. 暖房回路の凍結予防

自動的に凍結予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

※ガス栓は開いたままにしておいてください。

※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

暖房回路	気温が下がってくると、自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。	
	不凍液を使用している場合もあります。(本体フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています)	<ul style="list-style-type: none"> ●不凍液を使用する場合は、弊社指定品を使用してください。 ●指定以外の不凍液は、本体故障の原因になりますので、使用しないでください。 ●不凍液の取り扱い、不凍液の説明書に記載してある方法で正しく使用してください。

凍結して水が出ないとき

以下の処置をしてください。

※凍結して水が出なくなったら、暖房運転もしないでください。

※以下の処置でガス栓を開けても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

1. ガス栓・給水元栓を開める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。
- 凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

冬期の凍結による破損予防-2

長期間使用しないとき

以下の要領で、水抜きによる凍結予防をしてください。(右ページイラストを参照してください)



お湯の使用後は、本体内部のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

集合住宅の場合は、床やパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。

ガス元栓・給水元栓を閉める

- 1 ガス栓を閉める。
- 2 給水元栓を閉める。

ふろ側の水抜き

- 3 浴そう内の水を完全に排水する。
- 4 1) リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2) 追いだきスイッチを「入」にし、循環アダプターより排水することを確認し、2分程度そのままにする。
(2階浴室など、浴そうが本体より高い位置にある場合は、ふろ水抜き栓①②を左にまわして開けたあと、追いだきスイッチを「入」にし、ふろ水抜き栓②より排水することを確認する。) 注1, 注2
3) 完全に排水したら、運転スイッチを「切」にする。
- 5 ふろ水抜き栓①②・ポンプ水抜き栓を左に回して開け排水する。

給湯側の水抜き

- 6 すべての給湯栓を全開にする。
- 7 1) 給湯水抜き栓を左に回して開ける。
2) エアーチャージ栓を左に回して開ける。
(水抜き栓からお湯又は水が約850cc出ます。)
- 8 1) リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2) ふろ自動スイッチを押し、1分程度そのままにする。 注2

暖房側の水抜き

※本体フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認してください。
<不凍液が入っている場合> …… 以下の9の操作は必要ありません。
<不凍液が入っていない場合> …… 以下の9の操作で暖房側の水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

- 9 暖房水抜き栓①～③を左に回して開け、3分程度そのままにする。
(暖房水抜き栓①がない製品もあります)

最後に

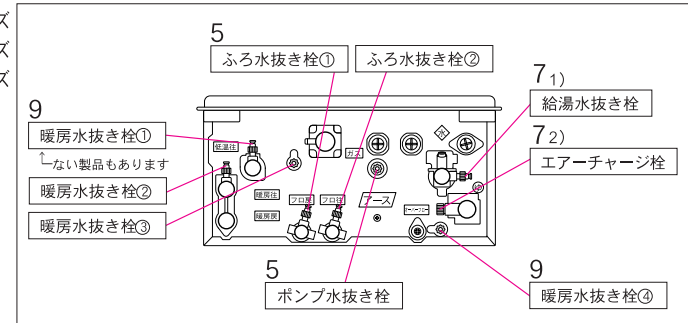
- 10 運転スイッチを「切」にする。
- 11 電源プラグを抜く。
ぬれた手でさわらないで
- 12 すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・エアーチャージ栓・すべての給湯栓を右にまわして閉める。

注1) ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。
注2) リモコンに故障表示《562》《632》を表示する場合がありますが、異常ではありません。

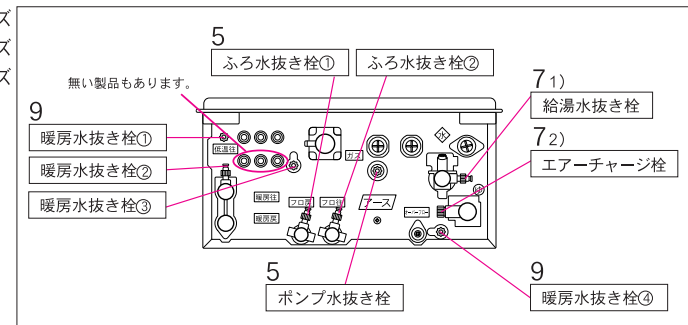
<下から見た図>

製品によって下図のように配管部が違いますので、よく確認してください。

044-0380シリーズ
044-0170シリーズ
044-0665シリーズ



044-0390シリーズ
044-0180シリーズ
135-0060シリーズ



水抜き後の再使用のとき

1. すべてのふろ水抜き栓・ポンプ水抜き栓・暖房水抜き栓・エアーチャージ栓、およびすべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、本体や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
5. ポンプの呼び水をする。(P15)

※通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示《543》《173》が出る場合

放熱器のスイッチとリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、本体の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が開まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・手入れのしかた

点検 (月1回程度)

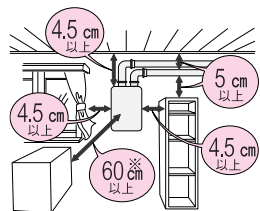
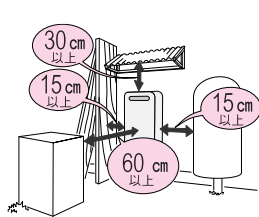
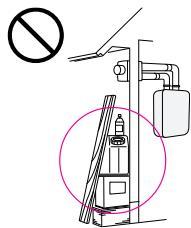
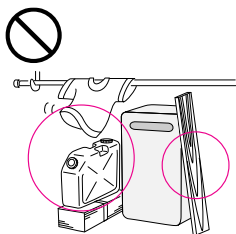
⚠️ 注意



点検、手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、本体内部のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック!

本体や排気口、給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



※アフターサービス上の寸法です。

チェック!

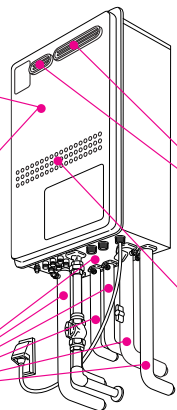
運転中に本体から異常音が聞こえませんか。

チェック!

本体の外観に、異常な変色や傷などはありませんか。

チェック!

本体・配管から水漏れはありませんか。



(例: 44-390 型)

チェック!

給排気筒トップがほこりなどでふさがっていませんか。

チェック!

排気口がほこりなどでふさがっていませんか。

チェック!

給気口がほこりなどでふさがっていませんか。

お手入れ (月1回程度)

本体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

お手入れ (こまめに掃除)

循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

※運転「切」にしてからおこなってください。

1 浴そうの循環アダプターのフィルターを左にまわしてはずす

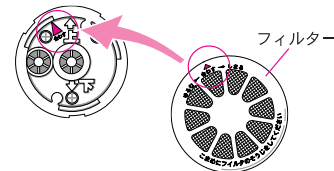


2 フィルターを掃除する

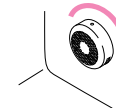


3 元どおりに取り付ける

1. △同士を合わせてはめ込み、



2. 右に止まるまで回して固定する。



- 特に、沸かし直しをしたときはフィルターがつまりやすいので、こまめに掃除してください。
- 循環アダプターのフィルターを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、本体が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

故障かな？と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 停電していませんか？ ▶ 電源プラグが差し込まれていますか？
給湯栓を開いてもお湯が出ない 使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ▶ 断水していませんか？ ▶ 給湯栓はじゅうぶん開いていますか？ ▶ 凍結していませんか？ ▶ ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ▶ LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ▶ リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(☞P18) ▶ 上記2点で問題のない場合は、P50「低温のお湯が出ない」を参照してください。
追いき運転ができない 追いき運転中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ ▶ ポンプの呼び水をしましたか？(☞P15)
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リモコンのふろ温度設定は適切ですか？(☞P27) ▶ 循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(☞P48) ▶ 循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(☞P48) ▶ ふろ湯量設定は適切ですか？(☞P28) ▶ 残り湯によっては、多くお湯はりすることがあります。(☞P26) ▶ <全自動タイプの場合> それでも改善しない場合は、以下の要領で、お風呂の自動沸かしの試運転をしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 浴そうが空の状態排水栓を閉じる。 2) 運転スイッチ「切」にし、設定スイッチ 設定 とふろ自動スイッチを同時に2秒間押す。 (このとき「ふろ保温時間変更画面」が出ることがありますが、異常ではありません。お風呂沸かし画面になり、お風呂沸かしをします。このお風呂沸かしは通常より時間がかかります) 3) 設定したふろ湯量(水位)にほぼなっていることを確認する。 <p>※この操作をしても改善されないときは、もよりの大阪ガスに連絡してください。</p> ▶ <自動タイプの場合> ふろ自動運転が完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。
設定した湯量(水位)より多くお湯はりし、浴槽からあふれたり、あふれそうになったりする	

次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて水になった	▶ 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	▶ 本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える	▶ これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。 ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
寒い日に排気口から湯気が出る	▶ 冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	▶ 本体内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアーチャージ栓から水滴が落ちることがあります。
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開けた時に、モーターが動く音(クック、クー)がする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 ▶ 再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。
ポンプの回転音(ウーン)がする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふろ追いき運転終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ▶ お風呂の予約運転時、沸き上がり時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 ▶ 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。 ▶ 長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するとき支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと)
低温のお湯が出ない	▶ 夏期など、水温が高いときや、ソーラー接続ユニットを使用して太陽熱温水器と接続している場合、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

故障かな？と思ったら-2

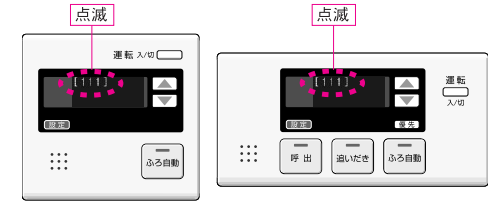
次のような場合は故障ではありません

高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お湯はりまたは足し湯運転中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯運転が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>
給湯栓から流れるお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、おふろの自動沸かしをしたり、スカイブレンダー(46-155型)を使用して太陽熱温水器と接続している場合、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ▶ お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
おふろの自動沸かしを始めるとにごったお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ▶ おふろの自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特に入浴剤(にごり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。
ふろ側の運転中に循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がある	<ul style="list-style-type: none"> ▶ おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
追いだきしないのに浴そうの水が温くなる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 暖房使用中に、ふろの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらくと、浴そうの水が温くなる場合があります。
リモコンの時刻表示が「0:00」になっている	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が「0:00」になることがありますので、確認してください。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示節電機能によって、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示節電を「しない」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼き付き防止のため、画面の状態が変わります。(P42) ▶ 上記のどちらの場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。スイッチを押した場合は、1回押すと元の画面に戻り、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたります。
スイッチを押したらスイッチの機能がはたらかず給湯温度表示画面になる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上記のどちらの場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。スイッチを押した場合は、1回押すと元の画面に戻り、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたります。
暖房運転中、放熱器が止まったり温度が下がったりする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 追いだき運転中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
寒い日にときどき暖房燃焼する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 気温が下がると、暖房回路凍結防止のため、自動的に暖房運転し、暖房水を暖めます。ある程度あたたまると自動的に停止します。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例：「111」を表示したとき、右図のような点滅をくりかえします。



故障表示	原因	処置
002	初めておふろの自動沸かしをするとき、浴そうに試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えるので、次回おふろの自動沸かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。(それ以降は残り湯があっても自動沸かしができます)
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
012	おふろの追いだき(あつく)を連続90分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	ふろ側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして追いだきスイッチを押し表示が出なければ正常です。
	暖房側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチと放熱器側の運転をいったん「切」にし、再度両方とも「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
632	おふろの追いだき(あつく)のとき、浴そうのお湯(水)が足りないため	運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、浴そうのお湯(水)を循環アダプターの上部より5cm以上入れてからおふろの追いだき(あつく)をしてください。(P29)
	循環アダプターのフィルター詰まり、または、循環アダプターが正常に取り付けられていないため	循環アダプターのフィルターが詰まっていないか、循環アダプターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
901	本体の燃焼に異常が生じたため	運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にしてもリセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください。
101	給排気に異常が生じたため、安全のために給湯能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- 上記以外の表示(例：「661」など)が出るとき
- 上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

49～52ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名……………下記の要領で、リモコンで品名をお調べください

1 運転スイッチを「切」にする

運転入/切
消灯

2 選択スイッチ(上)を 2秒 押す

<リモコン表示画面の表示例>
キッシュコード
[○○○○]
N-044-0390

※品名をお知らせください。
運転スイッチを「入」にするか、しばらくすると、表示が消えます。

お買い上げ日 …… 保証書をご覧ください
異常の状況 …… 故障表示など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

給湯暖房熱源機の取扱説明書についてです。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後15年です。
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設される時は、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様-1

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

24号	全自動タイプ				
製品名	44-380型 44-382型	44-381型	44-383型	44-385型	44-384型
型式名	GTH-2413AWXD	GTH-2413AWXD-T	GTH-2413AWXD-TB	GTH-2413AWXD-H	GTH-2413AWXD-FF-1
種類	給湯方式 設置方式	先止め式 屋外設置形			屋内設置形
点火方式	放電点火式				
使用水圧 (kPa)	98.1～981 (1.0～10.0 o f f f)				
作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f f)				
最低作動流量 (r /分)	3.5				
外形寸法 (a)	高さ750×幅480×奥行240				
質量 (本体) (o)	43	44	44	45	44
接続口径	ふろ(往き・戻り)	R1/2			
	暖房(往き・戻り)	G3/4			
	給湯	R3/4			
	給水	R3/4			
ガス	都市ガス……………	R3/4、LPガス……………R1/2			
	オーバーフロー	R1/2			
電気関係	電源	AC100V (50/60 J)			
	消費電力(50/60) (W)	270/330	295/355	290/355	290/350
湯温制御方式	待機消費電力	運転スイッチ「入」約10W(省電力モード)、「切」約9.5W(台所・浴室リモコン取付)			
	電子式ガス比例制御方式				
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置				

24号	全自動タイプ				
製品名	44-390型 44-392型	44-391型	44-393型	44-395型	44-394型
型式名	GTH-2413AWXH	GTH-2413AWXH-T	GTH-2413AWXH-TB	GTH-2413AWXH-H	GTH-2413AWXH-FF-1
種類	給湯方式 設置方式	先止め式 屋外設置形			屋内設置形
点火方式	放電点火式				
使用水圧 (kPa)	98.1～981 (1.0～10.0 o f f f)				
作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f f)				
最低作動流量 (r /分)	3.5				
外形寸法 (a)	高さ750×幅480×奥行240				
質量 (本体) (o)	44	45	45	46	45
接続口径	ふろ(往き・戻り)	R1/2			
	暖房(往き・戻り)	高温往き・戻り G3/4、低温往き φ7ジョイント			
	給湯	R3/4			
	給水	R3/4			
ガス	都市ガス……………	R3/4、LPガス……………R1/2			
	オーバーフロー	R1/2			
電気関係	電源	AC100V (50/60 J)			
	消費電力(50/60) (W)	280/340	305/365	300/365	300/365
湯温制御方式	待機消費電力	運転スイッチ「入」約10W(省電力モード)、「切」約9.5W(台所・浴室リモコン取付)			
	電子式ガス比例制御方式				
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置				

主な仕様 -2

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号		全自動タイプ				
製品名	44-170型 44-172型	44-171型	44-173型	44-175型	44-174型	
型式名	GTH-1613AWXD	GTH-1613AWXD-T	GTH-1613AWXD-TB	GTH-1613AWXD-H	GTH-1613AWXD-FF-1	
種類	給湯方式 設置方式	先止め式		屋外設置形		屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (kPa)	98.1~981 (1.0~10.0 o f f)				
	作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f)				
	最低作動流量 (r /分)	3.5				
	外形寸法 (a)	高さ750×幅 480×奥行 240				
	質量 (本体) (o)	42	43	43	44	43
接続口径	ふろ (行き・戻り)	R1/2				
	暖房 (行き・戻り)	G3/4				
	給湯	R1/2				
	給水	R1/2				
	ガス	都市ガス・・・・・・R3/4、 LPガス・・・・・・R1/2				
電気関係係	電源	AC100V (50/60)				
	消費電力 (50/60) (W)	260 / 320	290 / 355	285 / 340	290 / 350	295 / 345
	待機消費電力	(凍結予防ヒータ 145)				
湯温制御方式	運転スイッチ「入」約10W (省電力モード)、「切」約9.5W (台所・浴室リモコン取付)					
安全装置	電子式ガス比例制御方式 立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、沸騰防止装置					

16号		自動タイプ				
製品名	44-665型 44-667型	44-666型	44-668型	44-664型	44-669型	
型式名	GTH-2413SAWXD	GTH-2413SAWXD-T	GTH-2413SAWXD-TB	GTH-2413SAWXD-H	GTH-2413SAWX D-FF-1	
種類	給湯方式 設置方式	先止め式		屋外設置形		屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (kPa)	98.1~981 (1.0~10.0 o f f)				
	作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f)				
	最低作動流量 (r /分)	3.5				
	外形寸法 (a)	高さ750×幅 480×奥行 240				
	質量 (本体) (o)	43	44	44	45	44
接続口径	ふろ (行き・戻り)	R1/2				
	暖房 (行き・戻り)	G3/4				
	給湯	R3/4				
	給水	R3/4				
	ガス	都市ガス・・・・・・R3/4、 LPガス・・・・・・R1/2				
電気関係係	電源	AC100V (50/60)				
	消費電力 (50/60) (W)	270 / 330	295 / 355	290 / 355	290 / 350	300 / 355
	待機消費電力	(凍結予防ヒータ 155)				
湯温制御方式	運転スイッチ「入」約10W (省電力モード)、「切」約9.5W (台所・浴室リモコン取付)					
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、沸騰防止装置					

16号		全自動タイプ				
製品名	44-180型 44-182型	44-181型	44-183型	44-185型	44-184型	
型式名	GTH-1613AWXH	GTH-1613AWXH-T	GTH-1613AWXH-TB	GTH-1613AWXH-H	GTH-1613AWXH-FF-1	
種類	給湯方式 設置方式	先止め式		屋外設置形		屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (kPa)	98.1~981 (1.0~10.0 o f f)				
	作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f)				
	最低作動流量 (r /分)	3.5				
	外形寸法 (a)	高さ750×幅 480×奥行 240				
	質量 (本体) (o)	43	44	44	45	44
接続口径	ふろ (行き・戻り)	R1/2				
	暖房 (行き・戻り)	高温行き・戻り G3/4、低温行き φ7ジョイント				
	給湯	R1/2				
	給水	R1/2				
	ガス	都市ガス・・・・・・R3/4、 LPガス・・・・・・R1/2				
電気関係係	電源	AC100V (50/60)				
	消費電力 (50/60) (W)	270 / 330	300 / 365	295 / 350	300 / 360	305 / 355
	待機消費電力	(凍結予防ヒータ 145)				
湯温制御方式	運転スイッチ「入」約10W (省電力モード)、「切」約9.5W (台所・浴室リモコン取付)					
安全装置	電子式ガス比例制御方式 立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、沸騰防止装置					

24号		自動タイプ				
製品名	135-0060型	135-0062型	135-0065型	135-0066型		
型式名	GTH-2413SAWXH	GTH-2413SAWXH-T	GTH-2413SAWXH-TB	GTH-2413SAWXH-H		
種類	給湯方式 設置方式	先止め式		屋外設置形		
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (kPa)	98.1~981 (1.0~10.0 o f f)				
	作動水圧 (kPa)	9.81 (0.1 o f f)				
	最低作動流量 (r /分)	3.5				
	外形寸法 (a)	高さ750×幅 480×奥行 240				
	質量 (本体) (o)	44	45	45	46	
接続口径	ふろ (行き・戻り)	R1/2				
	暖房 (行き・戻り)	高温行き・戻り G3/4、低温行き φ7ジョイント				
	給湯	R3/4				
	給水	R3/4				
	ガス	R3/4				
電気関係係	電源	AC100V (50/60)				
	消費電力 (50/60) (W)	280 / 340	305 / 365	300 / 365	300 / 360	
	待機消費電力	(凍結予防ヒータ 145)				
湯温制御方式	運転スイッチ「入」約10W (省電力モード)、「切」約9.5W (台所・浴室リモコン取付)					
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、ポンプ過負荷保護装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、沸騰防止装置					

主な仕様-3

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

能力表

※製品名は仕様表を参照してください。

24号	型式名	1時間当りのガス消費量(最大消費量) (都市ガス kW (cf/h), LPガス=kW (cf/h))			出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25: 上昇	水温+40: 上昇
都市ガス用	13A	69.5 (59,800)	52.3 (45,000)	17.2 (14,800)	24	15
LPガス用		69.5 (4,97)	52.3 (3,74)	17.2 (1,23)	24	15

※型式名GTH-2413SAWXH, GTH-2413SAWXH-T, GTH-2413SAWXH-TB, GTH-2413SAWXH-Hは、ガス質13Aのみです。

16号	型式名	1時間当りのガス消費量(最大消費量) (都市ガス kW (cf/h), LPガス=kW (cf/h))			出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25: 上昇	水温+40: 上昇
都市ガス用	13A	52.1 (44,800)	34.9 (30,000)	17.2 (14,800)	16	10
LPガス用		52.1 (3,72)	34.9 (2,49)	17.2 (1,23)	16	10

メモ



メモ欄として活用してください

メモ



メモ欄として活用してください

A large, empty rectangular area defined by a dashed black border, intended for taking notes.

メモ



メモ欄として活用してください

A large, empty rectangular area defined by a dashed black border, intended for taking notes.